

やあ、ぼく、マンゴー

徳之島町立亀徳小学校

一年

岩切 いわきり 一哲 いつてつ

ひまわりようちえんのわには、おおきなきがありま
す。きは、こいみどりのほそながいはっぱでいっぱい
です。はるになると、はっぱのあいだからぼうがびゅうん
とのびてきました。そして、そこにしろくてちいさいは
なが、ざわざわわつといっぱいさきました。こどもた
ちは、まいあさ、きをみあげて、

「きょうは、どうなったかな。」

「いったいなんのきだろう。」

とたのしみにみていました。そのうちに、みどりいろの
まるいみになりました。みんなはおおよろこびしました。
そのみは、まいにちどんどんおおきくなり、しちがつに
なると、まっかなマンゴーになりました。

あるひ、マンゴーがぼとんときからおちました。

「いたたたたあ。もつとやわらかいところにおちたかつ
たなあ。」

マンゴーがそうつぶやいたのを、きいていたかえでくん
が、おどろいて、

「えっ。いま、マンゴーがしゃべったよ。」

とおおごえでいうと、もうようちえんは、おおさわぎで
す。まなとくんは、ちかせんせいをよびにいきました。
するとちかせんせいといっしょにえんちようせんせい
も、はしつてきました。こどもたちは、おえかきも、ね
んどあそびも、かくれんぼもやめて、みんなきのまわり
にあつまりました。

みんなにかこまれて、マンゴーはすこしはずかしそう
なかおで、

「やあ、ぼくマンゴーだよ。ちようどおいしくなったか
ら、おちてきたんだ。」

とあいさつをしました。

「すごい。ほんとうにしゃべってる。」

こどもたちは、まるくなつてマンゴーをかこみました。
すると、ちかせんせいが、

「まあかわいそう。きからおちておしりがいたそうね。
どこかいっぱしよはないかしら。」

といって、マンゴーをだいにりようでもちあげて、
げんかんにつれていきました。そして、マンゴーがいた
くないようにオレンジいろのふわふわのタオルのう
えに、そつとおいてあげました。

つぎのあさ、みんながマンゴーのかおをみにいくと、
マンゴーが、

「きょうは、みんなでおにごっこをしよう。」

といいました。

「えっ。おにごっこができるの。」

「うん。ぼくころがるのが、じょうずなんだ。」

マンゴーは、つちのうえも、しばふのうえもころころころがってにげます。でも、すぐにつかまってしまいます。マンゴーは、かんがえました。そして、みつからないように、すなばのとなりにあるどかんみたいなトンネルのなかにかくれて、きゅうけいしました。つぎは、ベルトコンベアーにのって、すべりだいのうえまでいどうしました。そこからは、きのうまでいたきのでっぺんがみえて、なつかしくなりました。のんびりしていると、

「マンゴーが、あんなどころにいた。」

と、おにがおいかけてきたので、いそいですべりだいにとびこみました。すべりだいは、あつあつでおしりがやけどしそうです。でも、すごいスピードでころがるので、まるでジェットコースターみたいで、マンゴーは、

「ヤッホー。たつのしい。」

とおおよろこびで、おにをどんだんはなしてにげました。つかれたマンゴーが、きのきりかぶのかげでやすんでいると、うしろから、しずかにおにがやってきました。

「あつ、つかまつちやったあ。」

みんなのわらいごえが、にわにひびきました。

ちょうどそのとき、せんせいのこえが、

「みんな、きゅうしよくのじかんですよ。」

ときこえてきました。こどもたちが、

「ええ、もうそんなじかん。もつとマンゴーとあそびたかったなあ。」

といつて、とぼとぼとかえろうとすると、マンゴーがいきました。

「ぼくね、みんなにいしいおいしいと、たべてもらうのが、ゆめなんだ。」

「えっ、たべてもいいの。」

「うん。ぼくが、いちばんおいしいときにたべてもらうのがしあわせなんだ。でも、たねはのこしてね。そして、うえてほしいの。そしたら、またいつしよにあそべるから。」

きゅうしよくのあと、こどもたちは、マンゴーをわけっこして、すこしずつたべました。

「いただきます。」

みんなは、おおきなこえでいいました。それは、それは、あまいあまいマンゴーでした。

たべおわると、みんなは、やくそくどおり、たねをうえにいきました。

「おおきなあれ。またあそぼうね。」

みんながそういうと、かぜがふいて、どこかでこえがしたようなきがしました。

「また、あそぼうね。」